

# 姫路支部だより

H I M E J I S H I B U D A Y O R I

# 7

2016. July No. 14





写真 水尾神社近辺の風景  
(姫路建築探訪より)

## Contents

- 1 6月の活動報告・7月の活動予定・お知らせ
- 2 事業予定 納涼懇親会  
全国大会・研修見学会
- 4 事業報告 環境デザイン研修会
- 7 姫路建築探訪

## 6月の活動報告

- 6. 1 (水) ものづくり体験講座 (ものづくり体験館)
- 6. 15 (水) ものづくり体験講座 (ものづくり体験館)
- 6. 16 (木)  CPD認定講習会  
第3回構造学習会 (姫路建設会館)
- 6. 22 (水) 第14回環境デザイン研修会 (姫路建設会館)
- 6. 23 (木)  CPD認定事業  
第3回建築相談 (姫路市役所)



### ■ 第3回構造学習会 事業報告

17名全員出席でした。少しずつ難しくなってきました。参加者の理解度をみながら前回の復習もしながら、少しペースを落として進めていく予定です。

(報告 石原理事)



## 7月の活動予定

- 7. 4 (月) ものづくり体験講座 (ものづくり体験館)
- 7. 7 (木) ものづくり体験講座 (ものづくり体験館)
- 7. 20 (水) 第15回環境デザイン研修会 (姫路建設会館)
- 7. 21 (木)  CPD認定講習会  
第4回構造学習会 (姫路建設会館)
- 7. 28 (木)  CPD認定事業  
第4回建築相談 (姫路市役所)

## お知らせ

### ■ 納涼懇親会

日時 8月6日(土) 18.30 ~ 21:00

場所 ラヴィーナ姫路

✕切 7月20日(水)

### ■ 全国大会・見学研修会

日時 10月22日(土) ~ 23日(日)

✕切 7月20日(水)

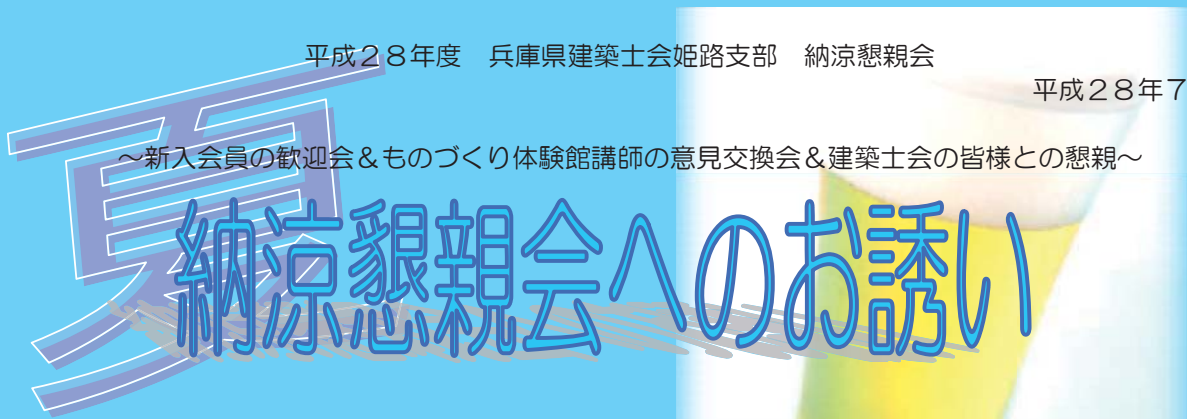
問い合わせ・申し込み 姫路支部事務局

(詳細は後ページに掲載)

平成28年度 兵庫県建築士会姫路支部 納涼懇親会

平成28年7月吉日

～新入会員の歓迎会&ものづくり体験館講師の意見交換会&建築士会の皆様との懇親～



あじさいの花が美しい季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

この度、新たな試みとして、8月に納涼懇親会を開催致します。

**新しく入会頂いた会員様の歓迎会！**

**昨年より続く、ものづくり体験館で講師を行っている意見交換会！！**

**建築士会の皆様、建築士会に興味を持たれている皆様との懇親を兼ねて！！**

プロヴァンス風ガーデンメニュー（グリルコーナー・サラダバー・デザートバー）とフリードリンク豊富な「ビアホール」で、楽しい時間を過ごしましょう。

また、9月開催の建築家講演会&勉強会、10月開催の全国大会（大分大会）、青年部会研修旅行など、色々な事業についても、お話できればと思っております。

気軽に、皆様、お誘いあわせの上、ご参加ください。

◆日時◆ 平成28年8月6日（土） 18：30 ～ 21：00（20：30OS）

◇姫路駅から、「往復！無料シャトルバス」が出ております。ご利用ください。

◇乗車場所：JR 姫路駅中央口 ⇄ ラヴィーナ

◇運行時間：JR姫路駅発 17：00 / 17：30 / 18：00 / 18：30 以降有  
ラヴィーナ発 20：00 以降、順次運行

◇お車で来られる方は、「ラヴィーナ専用駐車場」をご利用ください。

◆場所◆ ラヴィーナ姫路

住所：姫路市神屋町3丁目31

TEL：079-282-1001

◆参加費◆ 4,000円

◆問い合わせ・申し込み◆ 兵庫県建築士会姫路支部 事務局  
TEL：079-222-7126  
FAX：079-222-7120  
E-mail：himeji@hyokenkyo.or.jp

◆申し込み締め切り◆ 平成28年7月20日（水）

◆当日連絡先◆ 090-1024-7982（西脇）  
090-8934-0975（森澤）



-----参加希望の方は、FAX又はE-mailにてお申し込みください-----

「納涼懇親会」に参加します！

◇氏名

◇連絡先（FAX又はE-mail）

◇当日連絡先

## 建築士会全国大会・研修見学会のご案内

(公社) 兵庫県建築士会姫路支部長 西嶋宣久

平素は、当支部の運営にご協力いただきまして、誠に有難うございます。

さて、本年度の全国大会が大分県で開催されることになり、当支部として、大会参加並びに大分県（別府市）とその周辺の建築作品の見学研修旅行を企画いたしました。どうぞ皆様、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

### 「建築士会会員以外の方もふるってご参加ください！」

1. 日 程 2016年10月22日（土）～23日（日） 1泊2日
2. 行 先 大分県別府市とその周辺
3. 行 程 10月22日 JR 姫路駅中央改札口前集合、新幹線で移動→別府国際コンベンションセンター全国大会参加と周辺建築作品見学（一泊）  
10月23日 周辺建築作品見学→JR 姫路駅着
4. 宿泊先 別府温泉の温泉宿（4人相部屋予定）・ビジネスホテル（シングル）
5. 参加費用 50,000円 定員20名先着順（皆様のご参加をお待ちしています。）

**非会員の方は5,000円プラスとなります。**

6. 申込締切 7月20日（必着）
7. 申込方法 姫路支部事務局まで **FAX(079-222-7120)**によりお申し込み下さい。

★参加ご希望の方は、申込み時、訪れたい建物や文化遺産の御要望があれば、通信欄にご記入ください。なお、行き先は参加者と打ち合わせの上決定いたします。

フリガナ

お名前： \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 才

性 別：  男性  女性  ○でお囲み下さい

携 帯 番 号： \_\_\_\_\_

宿 泊 先 : 別府温泉の温泉宿（相部屋）・ビジネスホテル（シングル）  
○でお囲み下さい

CPD 登録者は登録番号： \_\_\_\_\_

連絡先（ご希望の連絡先をご記入ください）

メールアドレス： \_\_\_\_\_

F A X 番 号 : \_\_\_\_\_

通信欄：

姫路支部事務局

**FAX(079-222-7120)**

第10回 環境デザイン研修会

日時：平成28年2月17日 20時～22時

場所：姫路建設会館

出席者（敬称略）：山田、土川先生、加藤、景山、栗原、黒木、廣瀬、松岡【計8名】

◆概要

- ・モデル住宅改修工事に、本研修会で学んだ手法や技術を取り込む計画

◆参加者からの話

■モデル住宅改修工事の計画について

- ・断熱仕様の選定：外断熱+スタイロフォーム⇒土壁でもスタイロフォームの面で結露するので、透湿性の断熱材を使った方がいい。  
→今回は「アイシネンフォーム（現場発泡吹付断熱材）」を採用。

土壁に何を期待するか？：吸放出（湿気）、熱容量（蓄熱）

- ・基礎断熱：水がたまる（浸水時）。排水計画。

第11回 環境デザイン研修会

日時：平成28年3月23日 20時～22時

場所：姫路建設会館

出席者（敬称略）：山田、土川先生、加藤、景山、黒木、廣瀬、松岡【計7名】

◆概要

- ・モデル住宅改修工事に、本研修会で学んだ手法や技術を取り込む計画

◆参加者からの話

■モデル住宅改修工事の計画について

- ・通風のシミュレーション（季節ごとで風量が最大になる風向きでの検討。時間は関係なし）  
風向：冬 北→南。夏 南→北  
開口の大きいところから小さいところへ向かうにつれ風速があがる。  
室内の風速 0.5～0.7m/s（目安）扇風機の弱で1m離れると約0.5m/s  
風向の測定方法：①タフト（器具）。②線香の煙（自身の熱で上昇してしまうのと、乱流になると分かりにくい欠点がある）。  
温度差が大きいほど上昇気流が起きるので風速が上がりやすい。

・採光のシミュレーション

西日を気にするが、西日も東日も熱量は同じ。  
朝の光は目覚めがよくなるのでいい。

・湿気対策

湿気は入れたら出てこない→入れないことが大切。  
「水が水を呼ぶ」→水を入れないこと。  
水蒸気は圧力差で瞬時に伝わる→熱と同じ考え方ではない。弱点（湿気が侵入できる穴）を狙い撃ちしてくるイメージ。  
グラスウールは、水を含むと断熱性能が低下する→冷える→さらに水を呼ぶ→断熱性能の低下・・・を繰り返す。  
断熱材は、歴史・実績がないから、今使われているものの性能が将来にわたっても担保されるのかどうかよく分からない。

・地熱

地面からの熱量は一定。地熱利用とはいえ、最終的には室内と地面の熱が平均化されるだけ。

・伝統工法

構造的には現代でも十分通用する可能性はある。一方、温熱環境については、夏が涼しく過ごせるように作られており、冬の寒さは我慢を強いられることになる。そのような環境をも現代の生活スタイルに持ち込んでよしとするのか？

第12回 環境デザイン研修会

日時：平成28年4月20日 20時～22時

場所：姫路建設会館

出席者（敬称略）：山田、土川先生、東影、加藤、景山、黒木、廣瀬、松岡【計8名】

◆概要

・モデル住宅改修工事に、本研修会で学んだ手法や技術を取り込む計画

◆参加者からの話

■次にすること

・住宅改修工事の計画と進捗、他

■モデル住宅改修工事の計画について

・風、採光の計測は、知りたいことを具体的に決めること（research question）。

経験上こうなると考えていることを計測で確認するなど。

・風のシミュレーション

計測建物の周りにある建物も配置して実施。風速は約2 m/s

風向きによって、風が抜けやすい部屋とそうでない部屋がある。

窓をやみくもに設ければいいというものではない。

風の入口になると思っていたところが、逆に出口になることがある（その反対もあり）。

・採光のシミュレーション

遮光は部屋内ではなく屋外です（よしず等）

縁側の両端に袖壁を設けると日射を遮りやすい。

熱の遮断は基本的に外です。中に熱を入れると出口がない。

⇒風・採光のシミュレーションの結果を実測で比較する予定。

・断熱材を圧縮することについて

⇒空気層が断熱材になるので、圧縮しすぎるとよくない（防音効果はあるかもしれない）

第13回 環境デザイン研修会

日時：平成28年5月18日 20時～22時

場所：姫路建設会館

出席者（敬称略）：山田、土川先生、東影、加藤、景山、栗原、廣瀬、黒木、中村、松岡【計10名】

◆概要

・モデル住宅改修工事に、本研修会で学んだ手法や技術を取り込む計画

◆参加者からの話

■モデル住宅改修工事の計画について

・進捗状況：土壁と架構の施工中。

・断熱材を土壁に吹き付ける。測定項目は2通り

①土壁と断熱材の境界部分での結露の有無⇒温度・湿度の測定

境界部分で水が止まれば結露するが、そうでなければ結露しない。

土の中の湿度はほぼ一定であるのに対し、温度は室内温度に合わせて変動。

②基礎断熱の効果を調べる⇒外から内に向かって温度分布の測定

・断熱材は商品ごとで一長一短ある。

・今後増えていくであろう築20～30年の住宅を改修する際の検証。

・断熱材をどの程度の精度で施工しないといけないか、その見極めをしたい。

・シーラーの施工方法の注意点

・小舞～壁土塗りはさほど時間がかからない印象。

・通風シミュレーションと実測について

閉ざされた空間の中で冷暖房することで室内環境をコントロールしているが、本当にそれでいいのか？それに対して、自然の風を利用するにも単に窓を開ければいいというのも乱暴。よって、風の流れをうまく利用できるよう、窓やしつらいで工夫できる計画ができればいい。

10分間平均の風速・風向を測定。

・研修会の今後

建築士会60周年記念とあわせて、研修会で得られた学びを一般市民向けに発表する。

第14回 環境デザイン研修会

日時：平成28年6月22日 20時～22時

場所：コメダ珈琲店

出席者（敬称略）：山田、土川先生、加藤、景山、廣瀬、  
中村、松岡、【計7名】

◆概要

・モデル住宅改修工事に、本研修会で学んだ手法や技術を取り込む計画

◆参加者からの話

■山田家南のイエにおける、土川先生による温湿度測定器の設置の報告と、吹付断熱材（アイシネン）の施工状況報告について。



上 温湿度測定器の設置 下 吹付断熱材の施工状況  
(報告 山田副支部長)

名称：水尾神社本殿（付）棟札2枚（みずおじんじゃほんでん（つけたり）むなふだにまい）

所在地：姫路市安富町関 554-1

【概要】

暦応元年（1338）年と応永20年（1413）のものをはじめ何枚か棟札が残されているが、建築様式から江戸時代中期、17世紀末に再建されたと考えられる。小規模な一間社牌木入り春日造りであるが履屋に入っていて保存がよく、細部の手法が優れている。 姫路市文化財課ホームページより



水尾神社全景



石段と鳥居



本殿



拝殿から降りる階段



拝殿



板絵



棟札？



棟札？



水尾神社石碑



県指定天然記念物：大スギ



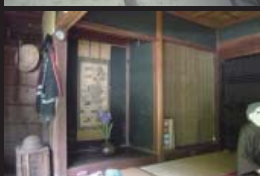
保存樹：アラカシ



【感想】  
姫路市の北側、『千年家』よりもさらに北側、ダムよりもさらに北側、安富町関というのどかな集落がある。村の人口よりかかしの人口が多い村としても有名？な集落にある神社が今回は見学対象である。



この神社『水尾神社（みずおじんじゃ）』と言い、グーグルマップにも載っていない小さい神社である。実際、注意深く標識を見ないと確実に通り過ぎてしまうほど目立たない場所にひっそりと鎮座している。田舎なので少し広めの道路端に駐車し階段下まで歩き、いざ階段を上ろうとするが道路と並走している林田川の心地よい水音が聞こえてくるので道路反対側へ。少し滝状になり白い清水と緑の葉の紅葉、黒い岩のコントラストが素晴らしく思わず見入っていて社見学の目的を忘れるところだった（笑）。では、本番！コケや落ち葉の石の階段をゆっくりと登っていく。石段の途中で鳥居を渡ることになる。薄暗い石段の周りは苔生した石や鶯状の葉が巻き付いた木が目目に飛び込む。三人とも同時に思った 心の中は『スタジオ ジブリの世界！』ものけ姫が潜む様な場所である。まず、切妻金属板葺きの門が目に入る。門を通るときに横を見ると薄暗い中に 像が見える。なにせ説明書きなど全く無いのでこの像が何なのかこの時点では分からなかった。（後で調べてみると、どうも 左大臣右大臣 と思われる。）門を抜けると、また土間階段となりこの階段の途中から屋根が始まり、この軒先から土間部分と



古民家を活用した「ふるさとかかしギャラリー」

床組みをした部分とに分かれた拝殿と今回の目的である本殿が現れる。本殿は切妻屋根の平入でこの屋根と拝殿の屋根が一体となっている。拝殿の部分に額絵が三枚飾られているが、残念ながら二枚は何か描かれているかわからない。建築的には特に特徴のあるものではなく、非常にシンプルであるが、他の神社には見られない形式の少し変わった形の、門、拝殿、本殿となり雨の日には山からの水で川の状態になるのだろうか？敷地内にある祭事に使用される道具入れに行くための石段部分に鉄筋コンクリート造の橋が架けられているのもご愛敬だ。本殿の戸は閉められ中は見ることができない。また屋根も反りもなく金属板が葺かれており物凄く質素、村人のためだけにひっそりと建築されているような少し目立たない神社の印象を受けた。その為、拝殿の天井にはコウモリがぶら下がり、神社周辺の自然は豊かで、大杉、アラカシは保存樹、『ヒメハルゼミ』『ヒメホタル』の生息地でもありお約束の マムシ注意の立て札も！

今回は規模も小さく見学が早く終わったので藤本さんも加わり『ぶらりおっさん町歩き』を少し。この安富町関地区は昔ながらの古民家もちらほら残っており『かかし』で町おこしを行っている。中でも『ふるさとかかしギャラリー』は古民家の中や庭や畑に人間そのものの姿をした かかし が人々を楽しませてくれる。この古民家は窓を開けて中を見学でき、懐かしい思いに浸れる。町歩きは古い民家がある地区を一回り！ 地元の人か？かかしか？ あっ！動いた！ 人やった！という感じで歩いていく。高台に茅葺き屋根に鉄板を被せた古民家が見えるので見学できないか聞いたところ、空き家なので見てもいいが 山ヒル に注意とのこと。結局あきらめました。途中、地元を離れて暮らしているご婦人たちにお話を聞いた。昔は全て茅葺き屋根であったが大火がありすべての民家に鉄板を被せたらしい。毎年のように寂しくなっています。一軒空き家を買って住んでください！と懇願されたが この言葉が地元を離れた方の本心から出た言葉であろう。自分の生まれ育った土地がどんどん過疎化していくのは本当に寂しい思いであろう。胸に突き刺さった。もしも、この地区の民家すべてが『千年家』の様に茅葺き屋根のまま存在していたら、最高の観光資源、姫路市の宝になっていたのに… と思いつつこの地区を後にした。

追記：この神社は本当に資料が少なく詳しい内容も調べられませんでした。ただ、少しだけ分かったことで(本当なのかどうかは別にして)、この神社は四国の土佐の女性が江戸時代にこの地を訪ねてこられ、先祖供養のために寄進した神社だと言われている様です。四国？辺鄙な山の中？先祖？ この地に平家の落人伝説か？！！想像すると面白いですね！



水尾神社近くの川と岩山の風景